

# 第5回「相米慎二監督映画祭り」開催記録

魅力発見 田子に眼を 映画祭

町制施行 90周年 記念事業

第5回

## 相米慎二 監督 映画祭り

2018 8/25 (土)

青森県田子町 タブコピアンプラザホール

13:00 開場  
13:30 開演  
13:30 上映費あり席、見どころ5紹介  
13:45 上映開始 (上映時間-休憩)  
15:45 トークショー  
17:00 閉演

**トークショーゲスト (会場予定)**  
※登壇により、出演が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

伴 齊藤由貴 伴 榎本孝明  
伴 小川富美夫 伴 榎戸耕史

**上映作品**  
雪の断章-情熱-

**入場無料 (整理券必要)**  
ただし事前配布する入場整理券が必要です。  
また、小学生以下の入場はご遠慮いただけます。  
入場整理券のご希望の方は、下記①②の方法でお申し込みください。(平日のみ)  
① 会場へおいでください。  
田子町役場庶務課庶務で整理券の申し込みをします。  
② 電話でご予約ください。  
☎ 0179-20-7127  
時間: 20分~17時  
田子町役場庶務課庶務課「映画祭り」係  
お電話でご予約の場合、入場整理券は映画祭り当日、会場受け取りさせていただきます。  
**入場整理券配布 (平日のみ)**  
【田子町民先行配布開始】7月26日~  
【一般配布開始】8月1日~  
お一人様お申し込みをさせていただきます。希望者多数の場合は、順次配布終了となりますので、あらかじめご了承ください。  
**シャトルバス運行あり (車・車前予約)**  
8月25日(土) 【八戸市内~会場間】  
詳しくは田子町役場庶務課へお問い合わせください。  
**託児室あり (車・車前予約)**

青森県田子町「町の魅力発見事業」企画事業 青森県田子町  
協賛 田子町教育委員会 / 公益財団法人にんごネットワーク / 田子町観光協会 / 映画監督相米慎二事務所 / 青森映画 田子町後援 青森県 田子町後援 青森県 田子町後援 青森県 田子町後援 TEL:0179-20-7127



たっこまち  
【青森県 田子町】

【会場・ロビー】 入場待ちの行列、頂戴したメッセージや監督作品ポスター、遺族からお借りした貴重な資料などを展示しました。



【トークショー・抽選会】撮影時のエピソードや相米監督にまつわるたくさんのお話が紹介され、お客様も大満足の様子でした。



## 【お墓参り】

相米監督の令兄 相米琢磨さんと関係者の皆様で相米慎二慰霊碑へ、相米監督の眠る墓前で静かに手を合わせました。



## 【交流会】

映画祭り終了後、「映画監督相米慎二を語りつくす会」が交流会を催し、関係者と一般参加者が親睦を深めました。



三戸郡・岩手県北

榎木孝明さん、斉藤由貴さんゲスト 相米監督映画祭り



撮影秘話を明かす榎木孝明さん



相米慎二監督との思い出を振り返る斉藤由貴さん

撮影秘話を紹介

**田子** 貴さん(51)や榎木孝明さん(62)らが、撮影秘話を明かすことや、危険なアクションシーンに体当たりで挑まれるなど、厳しい演出で知られた相米監督。同イベントで映画の上映後に行うトークショーでは、出演者の「恨み節」が恒例だ。

**田子** 田子町に眠る映画監督、相米慎二氏をしのぶ映画祭りが25日、同町のタフコピアンピアラザで開かれ、俳優の斉藤由貴さん(51)や榎木孝明さん(62)がゲストとして登場。上映後のトークショーで約350人の観衆を前に、相米監督の人柄や作品の魅力に触れた。

目下今回は、斉藤さんの映画初主演作で、榎木さんらが出演する1985年公開の「雪の断章 情熱」を取り上げた。

何度もリハーサルを繰り返すことや、危険なアクションシーンに体当たりで挑まれるなど、厳しい演出で知られた相米監督。同イベントで映画の上映後に行うトークショーでは、出演者の「恨み節」が恒例だ。

この日も斉藤さんが「当時の監督は俳優を人間扱いしなかった」と「先制攻撃」。「一方、「俳優本人が持つエネルギー」やリアルをいかに引き出すか。追い詰められて出てくる表現があって、そのストイックな姿勢はすさまじかった」と相米監督の行動の真意を押し量り、たたえた。

榎木さんは、同作品の冒頭の約13分半に及ぶという長回しシーンを振り返り、1週間のリハーサルをして臨んだにもかかわらず、撮り直しになったことなどを紹介。「役者それぞれ限界が試された。今までとは違う現場だった」と懐かしんだ。

会場には約350人が詰め掛け、普段は聞けない裏話の数々に酔いしれた。

(金澤一能)



相米監督の思い出を振り返る斉藤由貴さんと榎木孝明さん

「苛烈で希有な現場」  
町ゆかり・故相米慎二監督映画祭り  
斉藤由貴さんら懐かしむ

**田子** 田子町ゆかりの映画監督・故相米慎二さんの魅力を伝える「相米慎二監督映画祭り」が25日、町タフコピアンピアラザホールで開かれた。監督7作品目の「雪の断章 情熱」(1985年)に出演した斉藤由貴さん(51)、榎木孝明さん(62)がゲストとして登場。上映後のトークショーで約350人の観衆を前に、相米監督の人柄や作品の魅力に触れた。

(松田啓志)

雪の断章は北海道を舞台に、殺人事件に巻き込まれた少女が、2人の男性の間で揺れながら大人へと成長していく姿を描いた作品。主演を斉藤さんが、男性の1人を榎木さんが演じた。

斉藤さんにとって映画デビュー作品だったが、当時は相米監督の厳しい演技指導に何度も音を上げそうになったという。人間扱いしてもらえず、クズとかカコとか言われた。苛烈で希有な現場だったと苦笑。それでも一緒に仕事する人間に頑張らなきゃ、と思わせる人。私もすっかり相米マジックにかかった」と懐かしげに振り返った。

榎木さんは撮影終了後、「もう一本、お前と仕事を

したい」と言われたのが心に残っていると、「亡くなるのが早すぎる。もう一度、一緒に仕事をしたい」としみじみ語った。

「セラー服と機関銃」など13作品を世に送り出した相米監督は2001年に53歳で生涯を閉じ、父の出身地・同町相米地区にある先祖代々の墓で眠る。祭りは町が2014年から毎年行っており、今年で5回目を迎えた。